



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2020年7-9月号

Vol.52

## 支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、温かいご支援を心から感謝いたします。

新型コロナウイルスの蔓延は秋になっても収まる兆候が見えません。特に私たち家族が暮らす東京は、人口が稠密で公共交通機関の利用頻度も高く、感染の流行を押さえ込むことは非常に困難です。主の憐れみによって今のところ家族の健康が守られていることを感謝します。

今回のパンデミックには、「70億人全員が同じ経験をしていながら、実は全員が違う経験をしている」という逆説があると私は考えています。「コロナウィルスの逆説」とも言える状況の中で、社会を分断させるような事件や出来事を日々見聞きしますが、私たちは逆にこの機会を「社会に連帯と憐れみを形成する契機」としていく方法を考えていくべきだと思われています。FVIの働きもこの状況に影響を受け、東京以外に在住の支援者の皆様と次にお会い出来るのがいつになるか今も不透明ですが、祈りのなかで皆様と連帯し、神の国の同労者として御国の働きのために労していきたいと願っています。



次女ななみは離乳食を始めました（左）。6月後半、千葉県「ぞうの国」で動物と触れあう家族の夏休みを楽しみました（右）。

## 翻訳書「万物のいやし」が発刊されました

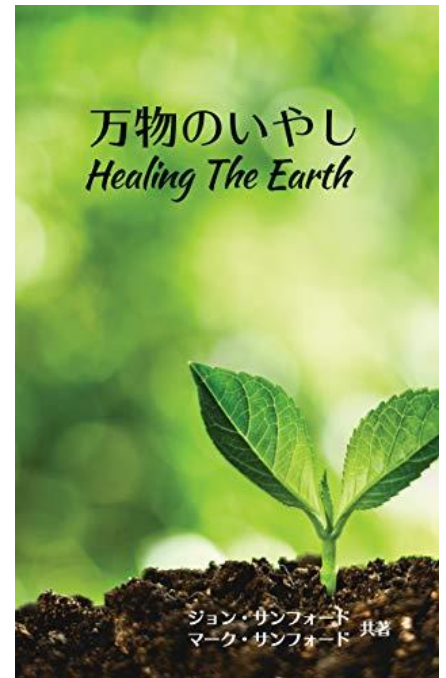
2015年、鬱の療養後期に、カウンセラーの先生から「仕事復帰のリハビリとして本を訳してみたらどうか？」とご提案いただきました。本のタイトルは「Healing the Earth」で、直訳すると「地球を癒す」となります。ネイティブアメリカンの祖父を持つ著者のアメリカ人牧師ジョン・サンフォード師は、先住民の「自然に対する畏敬と感謝」がアメリカの自然界を守ってきたのに対し、西洋から入ってきたキリスト教的思想が自然をむしろ破壊し蹂躪してきた過去を反省的に分析します。

西洋キリスト教神学は「聖俗二元論」によって「霊的な現実＝善で大切」、「物質的な現実＝二次的にしか重要ではない」という二分法的思考に陥ってきたと著者は言います。その結果、「創造者の代理人として被造物愛をもって被造物をケア（管理）する」という、創世記に示された役割を、キリスト教徒は長らく怠ってきました。神の被造物を適切にケアする、という使命にキリスト者が目覚めていくときに、「被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由にあずかります。

（ローマ8：21）」という真理の意味するところが実現していくのです。

この真理は日本人の宣教にとって非常に重要な意味を持つと私は思います。日本人は古代から長く「自然」を大切にしてきた民族です。先の二分思考に由来する西洋的な「操作的・介入的」な自然へのスタンスは、日本人に本能的な禁忌感をもたらします。しかし、聖書はそもそもそのようなことを教えておらず、自然界を通して神を喜び、神が大切にしておられる被造物を慈しむことを命じているのだ、と強調することは、日本人がキリスト教徒になることの大きなハードルの一つを取り除くことになるかと私は確信しています。そのような内容の本書が7月13日に出版されました。ペーパーバックならばAmazon オンデマンドで、電子書籍ならばKindle アプリや端末でお読みいただけます。よろしければ是非、手に取ってお読みいただけますと嬉しく思います。

Amazon.co.jpで「万物のいやし」と検索してみてください。



## YouTube 動画メッセージ

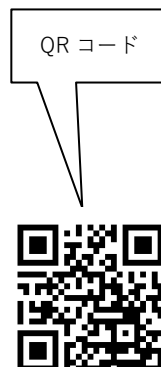
コロナウイルスによって活動は影響を受け、学校での講演や授業も動画配信になり、対外的な教会での奉仕も3月以降はありませんでした。しかし9月から徐々にではありますが、感染症対策を行った上での諸教会でのセミナー等の奉仕も入ってきています。文字だけではなかなか伝わらない働きの現実や生活の息づかいを、動画で分かち合わせていただきます。下のQRコードを読み取っていただきますと、支援者の皆様だけが視聴できる限定公開のYouTubeでの動画メッセージをご覧ください。



長女のかなえ（3歳）が冒頭出演している  
限定公開動画はこちらから。

## 新しく「note」で文章を書き始めます。

2007年に活動報告の目的で「陣内俊 Prayer Letter ONLINE」というブログを始め、断続的に10年間ほど続けていましたが、その後はメルマガやYouTubeでの発信に移行していました。今回「note」というプラットフォームで文章を書き始める、ということにチャレンジしてみることにしました。以前にブログで発信していたような内容を、「note」というプラットフォームで書いていければと思っています。YouTubeでの発信も続けながら、こういった形で文章も書いていきたいと思っていますので、応援いただけますと幸いです。



## メッセージ要約：「静まりから生まれるもの」

主題聖書箇所：詩篇 46 章 10 節

新型コロナウイルスで「検疫（英語で Quarantine）」という言葉をよく聞くようになりましたが、Quarantine の語源はイタリア語の「40」で、これは航海から戻った舟の乗組員が伝染病を欧州に運ばないように、下船前に 40 日間、港に停泊し隔離されたことに由来すると、日本福音同盟の論文集で吉川直美先生が紹介されています。「40」という数字は、イエスの荒野の試み、シナイ山でのモーセ、イスラエルの民の荒野の放浪（40 年）など、聖書において「新しい始まり」を迎えるために神が与えられる準備期間という意味があります。コロナ禍で今も移動や集会などが制限を受ける中、神は私たちに「強制的な安息日」を与えておられると考えることもできます。

そこで、「神の前に静まる」ということが非常に重要な意味をもってきます。この期間、神の前にしっかり静まり聴くことができたかどうか、「アフターコロナ」の人生や働きの充実や深みに直結すると考えられるからです。静まりを疎外するものには、「スマホとそれがもたらす無限のコンテンツ」や「心配や思い煩い」があります。逆に静まりを促進するのは、「神に対する飢え渇き」と、「環境」です。環境とは、静まるための「構造的な支え」のことです。「場所、時間、仲間」を作ることが大切です。

イエスは静まりを疎外するテクノロジーや不眠から自由でしたし、イエスには父と時間を過ごす決まった場所、時間があり、仲間（ペテロ、ヤコブ、ヨハネ）がいました。

イエスに倣って静まる習慣を始めるのは、逆説的ですが、「静まっている場合じゃないほど心がごちゃごちゃしている」ときなのです。

メッセージ動画はこちら



## 祈りの課題

- ◇コロナ禍の影響を受け財政が落ち込んでいる FVI の会計状況が回復するように。
- ◇コロナ禍で状況が変わっても、様々な機会を生かして「日本の教会を建て上げる」という使命を果たし続けることができるように。
- ◇体調を適切に管理し、うつ病の再発などのリスクから守られ、俊が健康に神に奉仕出来るように。
- ◇純子が乳腺炎から守られるように。かなえ、ななみが病気などから守られるように。

## 2020年10月以降の主な活動予定

月 日	内 容	場所、補足
10月11日	礼拝奉仕および午後のセミナー	南浦和バプテスト教会（さいたま市）
10月25日	礼拝でメッセージ奉仕	練馬グレースチャペル（練馬区）
10月26日	FVI 総会	Zoom にてオンライン開催
11月14日	よにでしセミナーオンライン同窓会（招待制）	Zoom にてオンライン開催
随時継続的に	包括宣教の各種活動	国内各地

\* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

## 連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼はこちらへ）

陣内への Email [shun@karashi.net](mailto:shun@karashi.net) 無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索

## 支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- \* 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- \* 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- \* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。